

星野 だより



3月定例議会一般質問

ふるさと納税について

西伊豆町は、ふるさと納税に本格的に取り組み始めたのが平成26年で、その年には約**3億7千万円**の寄付を頂き、平成27年度には約**10億円**の寄付を頂きました。

寄付金の約半分が、返礼品の購入として町内の業者さんに還元され、約4割が町の手元に残ります。

しかし、西伊豆町のようにたくさんの寄付金を頂く町があれば、税収の減る市町があるのは当然のことです。特に、都市部では税収の落ち込みも多く、横浜市においては、平成28年度の減収を**29億円**とみているそうです。

減る側からすれば、なるべく減収にならないように対策するでしょう。もしか

したら国に、ふるさと納税制度をやめるように働きかけるところが出てくるかもしれません。

すでに、対策を打ち始めている市町もあるようです。

そこで、今後の取り組みや産業の振興、寄付金の使い道などについての質問をしました。

使途を明確にしては？

『自分の寄付が、その町でどのように使われたかを明確にすることで、次回へつながる安心感を与え、また、町の取り組みに共感した方の新規寄付者が増えるのでは？』という質問をしました。

答弁 今後必要があれば検討していきます。

(下記画像はふるさとチョイス HP から転用)

私の提案として、『平成28年度から始まる保育料無償化の費用に・ダイバーの行っている海中清掃に・林業振興に、などを発信しては』という進言をしました。

産業振興

漁業・観光・商業に関しては、ふるさと納税のメリットがあるものの、農林業に関してはあまりないので、今後の課題として以下を提案しました。

『森林間伐事業の推進、キンギョソウ・カーネーションなどの花卉をふるさと納税の返礼品として取り扱う』など。

28年度、光回線敷設

平成28年度の予算に、光回線敷設関係経費が計上され、可決しました。平成28年度中には、町内全域で順次開設されます。それに伴い『Wi-Fiの設置が必要では？』という質問をしました。

答弁 国・県の補助があるので、光回線敷設後の設置を検討します。設置個所は、公共施設を中心に設置します。

裏面もご覧ください



平成29年度、Wi-Fiを設置

再質問の答弁では、Wi-Fiは、光回線敷設と並行して、29年度の設置を目指し、28年度中に計画を進めるとの答弁がありました。

私の提案として、『公共施設のみならず、観光スポットへの設置と、出来れば各地区の公民館への設置』を求めました。

公共施設の中には、現在指定管理に出しているクリスタルパークや、やまびこ荘なども含まれ、堂ヶ島公園・町内の海水浴場にも設置の方向で検討とのことでした。

現在の計画には、各地区の公民館は入っていないようですが、設置することにより、災害時や医師の往診の際に、利用が可能になると考えています。

介護保険料値上げ

介護保険料は、平成27年度から基準月額を300円値上げ、それでも財源が足りず、平成28年度は、さらに1,000円の値上げが決定しました。

介護保険料はどのように決まるのか。

■過去数年の数値を基に、今後必要となる費用を算定します。その必要額の

22%を介護保険料として65歳以上の方(収入によって基準額の0.45%~1.70%の違いあり)に収めていただきます。

■40歳以上65歳未満の方も介護保険料を収めます。40歳になったとたんに国保や社保の保険料が高くなったと感ずることがあるかもしれませんが、介護保険料が引かれ始めたということです。

■介護保険料は、介護保険を使う人が多くなればなるほど高くなります。現に平成27年度比1億4,580万円の増になっていますので、その22%の約3,200万円を、65歳以上の方が負担することになります。

国・県の負担率変わらず

一般質問で、『国・県の負担率は増えないのか?』という質問をしました。

答弁 国・県からそういった話はありません。

これは、消費税は社会保障の充実にという名目で上げたはずなのに、社会保障費の負担は個別の保険税で徴収するので、国・県の負担率は上げてくれない、つまり、私たちの負担が増え続けるということになります。

しかし、上記にもあるように、昨年度比1億4,580万円の予算増になっています。単純に、国3,645万円・県1,823万円・町1,823万円の

負担増になっているので、それ以上を望むことは難しいかもしれません。

予防に力を入れては

『介護が必要な方に使わないでくださいと言うことはできませんので、予防事業に力を入れて、いつまでも健康で長生きができる町を目指してほしい』という旨の質問をいたしました。

隣の松崎町は、西伊豆町に比べ介護保険料は低く、西伊豆町5,800円に対し、松崎町は4,400円となっています。その要因として、農業など、日頃から体を動かしている。それが、予防につながっているのではないかという意見も出ています。

少しでも家から出て、歩け歩けやグランドゴルフなどを楽しむことも予防につながると思います。

20年後の介護は

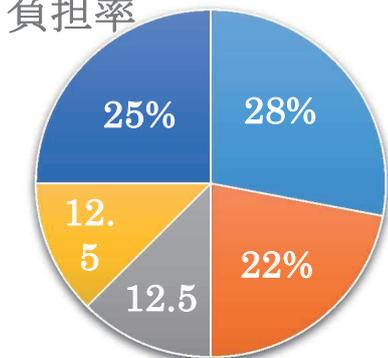
西伊豆町の人口は年々減少し、高齢化率は45.5% (平成27年4月)で県下1位です。これは高齢者が増えたというよりは、65歳以下が少ないとみたほうが良いと思います。言い換えれば、20年後に介護を受けたい方がいても、介護をする側がいないということです。

最近、「町は子育て世帯に優遇しすぎでは?」というご意見を頂きますが、これからの世代がいなければ町は消滅してしまいます。

若者も住みよい町が、年配者も住みよい町になるのではないかと私は思います。

議会だよりもご覧ください

負担率



- 40才~64才
- 65歳以上
- 国
- 町